

世田谷区産業ビジョン（案）及び世田谷区産業振興計画（案）について

（付議の要旨）

世田谷区における産業のあり方を明らかにする「世田谷区産業ビジョン（案）」及びそれを具
体化するための「世田谷区産業振興計画（案）」を取りまとめたので、報告する。

1 主旨

世界経済は、グローバル化が進展するとともに、第4次産業革命といわれる新たな産業技術の活用により様々な産業構造の変革が起きており、わが国も、世界的な産業構造の変革の影響を受けて、今後、人々の生活や産業構造等が劇的に変わる可能性が指摘されている。

このように社会全体が大きく変化することが想定される中で、区内においても新たな産業分野の開拓と成長を推進していくことは、今後10年にわたる区内産業の充実・発展を実現するためには必要不可欠な要素である。

また、社会的には少子高齢化が進んでいるといわれている中で、世田谷区は高齢者と子どもがともに増加しており、それに伴い区民の必要とする産業の態様も変わってきている。

すなわち、商業・工業・農業といった枠組みにとらわれるのではなく、福祉分野、環境分野など様々な産業分野を横断的にとらえて、区民生活を支えることが重要となる。

以上のような区及び区内産業を取り巻く社会経済環境の変化を的確にとらえ、新たな時代のトレンドやニーズに対応していくことを目的として、平成30年度から10カ年を見通した産業のあり方を明らかにする「世田谷区産業ビジョン」（以下「ビジョン」という。）及び「世田谷区産業振興計画」を策定することとし、その案をまとめたので、報告する。

2 案策定までの経過

学識経験者、産業団体、金融機関、消費者団体等を委員とした産業ビジョン懇話会による議論を経て世田谷区産業ビジョンの提言を受けた。

また、庁内の検討組織として世田谷区産業ビジョン及び産業振興計画策定検討委員会を設置し、提言等を踏まえた検討を行い、「世田谷区産業ビジョン（素案）」及び「世田谷区産業振興計画（素案）」を取りまとめ、政策会議において決定を受けた。

その後、区議会（第3回定例会）における議論、区民意見募集の結果、産業ビジョン及び産業振興計画策定検討委員会や同部会における議論等を踏まえ、文言を追記・修正して、「世田谷区産業ビジョン（案）」及び「世田谷区産業振興計画（案）」として取りまとめた。

3 計画期間

- (1) 世田谷区産業ビジョン 平成30年度から概ね10年間
- (2) 世田谷区産業振興計画 平成30年度から平成33年度まで（4年間）

4 内容

- (1) 世田谷区産業ビジョン（案）【概要版】 資料1
- (2) 世田谷区産業ビジョン（案） 資料2
- (3) 世田谷区産業振興計画（案）【概要版】 資料3
- (4) 世田谷区産業振興計画（案） 資料4

5 区民意見募集の結果及び区の考え方について

資料2「世田谷区産業ビジョン（案）」p92～p95のとおり

6 今後のスケジュール（予定）

平成30年 2月 区民生活常任委員会（案）
3月 下旬 「世田谷区産業ビジョン」及び「世田谷区産業振興計画」策定